

# えりも町簡易水道事業経営戦略

団 体 名 : えりも町

事 業 名 : えりも町簡易水道事業

策 定 日 : 令和 2 年 7 月

計 画 期 間 : 令和 2 年度 ~ 令和 11 年度

## 1. 事業概要

### (1) 事業の現況

#### ① 給 水

供用開始年月日	昭和 41 年 1 月 1 日	計 画 給 水 人 口	4,800 人
法 適 ( 全 部 ・ 財 務 ) ・ 非 適 の 区 分	非 適	現 在 給 水 人 口	4,438 人
		有 収 水 量 密 度	0.136 千 m <sup>3</sup> /ha

#### ② 施 設

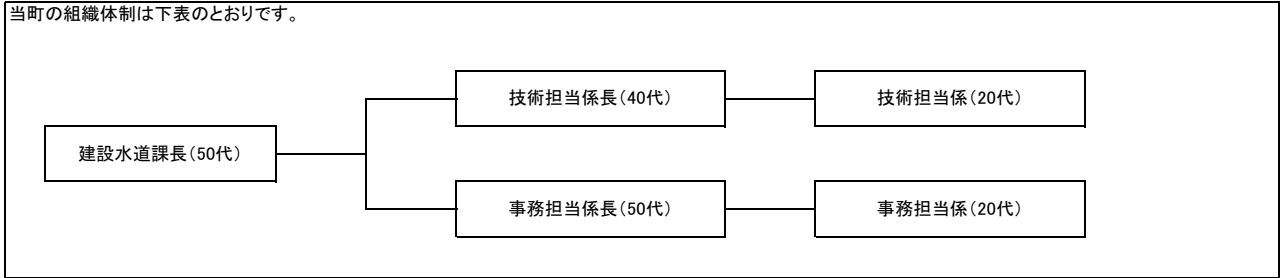
水 源	<input checked="" type="checkbox"/> 表流水 , <input type="checkbox"/> ダム , <input type="checkbox"/> 伏流水 , <input type="checkbox"/> 地下水 , <input type="checkbox"/> 湖沼水 , <input type="checkbox"/> その他 (複数選択可)				
施 設 数	浄水場設置数	3	管 路 延 長	108	千 m
	配水池設置数	5			
施 設 能 力	2,717 m <sup>3</sup> /日		施 設 利 用 率	70.1	%

#### ③ 料 金

料 金 体 系 の 概 要 ・ 考 え 方	当町の水道料金は用途別料金体系を採用しており、各用途別の基本料金と従量(超過)料金は下表のとおりです。			
	用途	使用水量	基本料金	超過(1m <sup>3</sup> )料金
	家庭用	10m <sup>3</sup> まで	2,200円	275円
	営業用	15m <sup>3</sup> まで	4,950円	330円
	団体用	15m <sup>3</sup> まで	4,180円	275円
	浴場用	100m <sup>3</sup> まで	13,200円	220円
臨時用	10m <sup>3</sup> まで	6,600円	660円	
料 金 改 定 年 月 日 (消費税のみの改定は含まない)	改 定 無 し			

#### ④ 組 織

当町の組織体制は下表のとおりです。



### (2) これまでの主な経営健全化の取組

- ・民間活用  
検針業務、水質検査業務、漏水調査業務などを民間に委託することで、業務の効率化を図っています。
- ・施設の統廃合  
平成29年に3つの簡易水道事業を1つにソフト統合し、効率的な維持管理を図っています。

\*1 水道事業の広域化とは、水道法(昭和32年法律第177号)第2条の2第2項の市町村の区域を超えた広域的な水道事業者間の連携等に当たるものである。その具体的な方策としては、経営統合(事業統合及び経営の一体化をいう。以下同じ。)、浄水場等一部の施設の共同設置や事務の広域的処理等がある。

### (3) 経営比較分析表等を活用した現状分析

※ 直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」(公営企業三課室長通知))による経営比較分析表を添付すること。

令和1年度に策定・公表した「平成30年度決算経営比較分析表」を添付しています。

## 2. 将来の事業環境

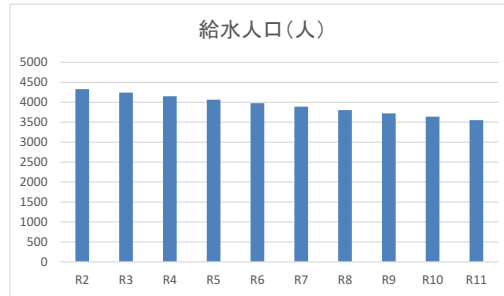
### (1) 給水人口の予測

#### ・予測方法

「国立社会保障・人口問題研究所」から公表されている地域別将来推計人口を行政人口推計値とし、直近過去5年間の平均水道普及率97.5%を乗じて給水人口を予測した。

#### ・予測結果

令和1年度末実績値4,548人から令和11年度末には3,554人に減少する予測となっております。



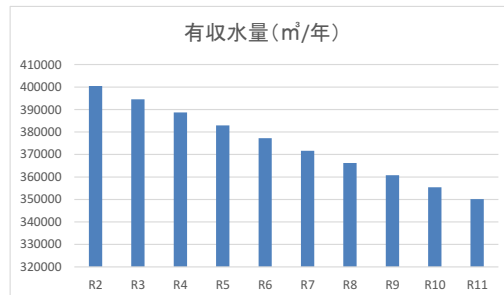
### (2) 水需要の予測

#### ・予測方法

直近過去5年間の用途別有収水量を見ると、家庭用は給水人口に比例して減少しているが営業用及び団体用はほぼ横ばいとなっている。本予測においては、令和1年度全有収水量実績値に直近過去5年間の全有収水量平均減少率98.5%を乗じて予測した。

#### ・予測結果

令和1年度末実績値406,471m<sup>3</sup>/年から令和11年度末には350,165m<sup>3</sup>/年に減少する予測となっております。



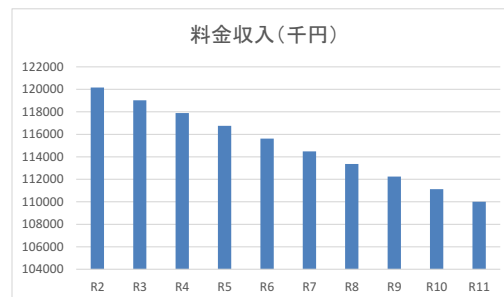
### (3) 料金収入の見通し

#### ・算定方法

有収水量の予測値から現行料金単価にて料金調定額を算定し、直近過去5年間の平均収納率を乗じて料金収入額を算定した。

#### ・算定結果

令和1年度末実績値120,293千円から令和11年度末には110,009千円に減少する算定となっております。



### (4) 施設の見通し

浄水施設の設備関係については老朽化施設を順次更新してきており、管路については、収支均衡となる範囲内で更新しているため耐用年数を超えた老朽管がありますが、基本的には今後も収支均衡となる範囲内で老朽管を順次更新していきます。

#### (5) 組織の見直し

平成20年に、建設、水道、下水道を一つに統合し建設水道課となり、技術担当2名、事務担当2名で水道事業を実施しておりますが、水道係が下水道係も兼務していることから、今後も同じ体制で水道事業を実施していきます。

### 3. 経営の基本方針

北海道水道ビジョンに示される目標を基本方針とする。

- 1 安全:安全・安心な水の確保  
・未普及地域の解消及び飲用井戸等の衛星対策の推進  
・水道水源の保全及び給水栓までの水質管理の徹底  
・住民の水道に対する信頼性の向上
- 2 安定:安定的な水道水の供給  
・水道施設の計画的・効率的な更新  
・基幹施設の耐震化の推進  
・災害時等の対応の徹底
- 3 持続:運営基盤の強化  
・施設の更新等に応じた資金の確保  
・施設、運営の両面での事業の効率化の推進

### 4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	収支均衡を図りつつ安定した給水を行うため、事業費の平準化に努めながら耐用年数を超えた老朽施設の更新を行う。
-----	-------------------------------------------------------

- ・令和2年度～令和3年度に3浄水場と本庁舎との計装設備機器更新工事を国庫補助事業で実施。(45,049千円/年)
- ・令和2年度～令和11年度に老朽管更新工事等を単独事業で実施。(28,260千円/年～46,979千円/年)

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	収支均衡を図りつつ補助金や起債を活用しながら、自主財源にて老朽施設の更新を行う。
-----	------------------------------------------

- ・令和2年度～令和3年度の国庫補助事業の財源については、補助金(補助率1/3)、起債(対象率2/3)とし、起債の償還については自主財源を見込む。
- ・令和2年度～令和11年度の単独事業の財源については、自主財源を見込む。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

- ・委託料:直近過去5年間の平均実績値にて算定した。
- ・修繕費:直近過去5年間の平均実績値にて算定した。
- ・動力費:直近過去5年間の平均実績値にて算定した。
- ・人件費:管理職1名、係長2名、係2名にて算定した。
- ・その他:直近過去5年間の平均実績値にて算定した。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※ 投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間内の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュール等について記載する必要があること。

① 投資の合理化、費用の見直しについての検討状況等

広 域 化	令和元年度に北海道水道広域化推進プラン策定に関する検討会が設置され、令和4年度までに経営統合、施設の共同設置、事務の広域的処理等の広域化について「水道広域化推進プラン」を策定することになっており、この検討会で近隣町との広域化の可能性について検討する。
民間の資金・ノウハウ等の活用 ( PPP/PFI 等 の 導 入 等 )	今後、必要に応じて導入の可能性について検討する。
アセットマネジメントの充実 ( 施設・設備の長寿命化等 による投資の平準化 )	アセットマネジメントに基づく長寿命化及び更新事業に取組みます。
施設・設備の廃止・統合 ( ダウンサイジング )	平成29年に3つの簡易水道事業を1つにソフト統合しているが、ダウンサイジングについては浄水施設全体の更新時に検討する。
施設・設備の合理化 ( スペックダウン )	平成29年に事業認可を変更し、計画給水人口、計画一日最大給水量を減少した計画に変更しており、浄水施設全体の更新時にはスペックダウンした施設に更新する予定です。
そ の 他 の 取 組	特になし

② 財源についての検討状況等

料	金	給水人口の減少に伴い料金収入も減少するが、計画期間内は現行料金単価での収支は均衡しており、計画期間以降も現行料金単価での収支均衡に努めます。	
企	業	債	計画期間内は令和2年度～令和3年度の国庫補助事業実施に伴い起債を借入れる計画ですが、今後、新規事業を実施する場合は、収支均衡を図りつつ、国庫補助事業の活用や、交付税措置の有利な起債の借入れなど、適切な財源確保に努めます。
繰	入	金	計画期間内は収支が均衡しており、繰入金は見込んでおらず、計画期間以降も収支均衡に努めます。
資産の有効活用等(*2)による収入増加の取組			特になし
その他の取組			特になし

③ 投資以外の経費についての検討状況等

委	託	料	浄水施設の運転管理業務を民間委託することにより、維持管理費のコスト縮減が可能か検討します。		
修	繕	費	計画的な修繕を行い、トータルコストの削減、支出の平準に努めています。		
動	力	費	浄水施設更新時には、スペックダウンすることにより動力費の軽減を図る。		
職	員	給	与	費	浄水施設の運転管理業務を民間委託することにより、維持管理費のコストが縮減し職員数の削減が可能か検討します。
その他の取組			特になし		

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	毎年度、進捗管理(モニタリング)を行い、最低でも5年ごとの見直し(ローリング)を行うことによりPDCAサイクルを効果的に回して、本経営戦略の事後検証、更新を行ってまいります。
---------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

# 投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

区 分		年 度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
		(決算)		(決算)											
収 益 的 収 入	1 総 収 益 (A)	126,229	126,979	122,610	123,272	119,244	130,526	116,854	115,153	113,912	113,025	111,705	110,654		
		(1) 営 業 収 益 (B)	122,998	121,050	122,581	119,643	119,215	117,597	116,825	115,124	113,883	112,996	111,676	110,625	
		ア 料 金 収 入	120,705	120,293	120,167	119,027	117,889	116,751	115,617	114,486	113,358	112,237	111,120	110,009	
		イ 受 託 工 事 収 益 (C)	349	583	380	440	1,150	670	1,032	462	349	583	380	440	
		ウ そ の 他	1,944	174	2,034	176	176	176	176	176	176	176	176	176	
		(2) 営 業 外 収 益	3,231	5,929	29	3,629	29	12,929	29	29	29	29	29	29	
		ア 他 会 計 繰 入 金													
	イ そ の 他	3,231	5,929	29	3,629	29	12,929	29	29	29	29	29	29		
	2 総 費 用 (D)	64,857	66,716	63,534	70,718	65,810	72,990	67,476	68,545	66,649	65,809	66,532	66,516		
		(1) 営 業 費 用	59,770	61,302	61,781	69,053	64,221	67,877	62,433	63,575	61,750	60,984	61,781	61,841	
		ア 職 員 給 与 費	29,468	28,998	29,284	29,284	29,284	29,284	29,284	29,284	29,284	29,284	29,284	29,284	
		ウ ち 退 職 手 当													
		イ そ の 他	30,302	32,304	32,497	39,769	34,937	38,593	33,149	34,291	32,466	31,700	32,497	32,557	
		(2) 営 業 外 費 用	5,087	5,414	1,753	1,665	1,589	5,113	5,043	4,970	4,899	4,825	4,751	4,675	
ア 支 払 利 息		1,871	1,695	1,588	1,500	1,424	1,348	1,278	1,205	1,134	1,060	986	910		
ウ ち 一 時 借 入 金 利 息															
イ そ の 他	3,216	3,719	165	165	165	3,765	3,765	3,765	3,765	3,765	3,765	3,765			
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)	61,372	60,263	59,076	52,554	53,434	57,536	49,378	46,608	47,263	47,216	45,173	44,138			
資 本 的 収 入	1 資 本 的 収 入 (F)		55,976	45,049	45,049										
		(1) 地 方 債		37,900	30,000	30,000									
		ウ ち 資 本 費 平 準 化 債													
		(2) 他 会 計 補 助 金													
		(3) 他 会 計 借 入 金													
		(4) 固 定 資 産 売 却 代 金													
		(5) 国 ( 都 道 府 県 ) 補 助 金		18,076	15,049	15,049									
	(6) 工 事 負 担 金														
	(7) そ の 他														
	2 資 本 的 支 出 (G)	60,772	116,093	101,583	97,554	53,329	57,423	49,221	46,596	47,170	47,112	45,051	43,968		
		(1) 建 設 改 良 費	45,940	104,118	92,028	89,768	43,850	46,560	34,748	31,183	31,686	31,554	29,419	28,260	
		ウ ち 職 員 給 与 費													
		(2) 地 方 債 償 還 金 (H)	14,832	11,975	9,555	7,786	9,479	10,863	14,473	15,413	15,484	15,558	15,632	15,708	
		(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金													
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金															
(5) そ の 他															
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)	△ 60,772	△ 60,117	△ 56,534	△ 52,505	△ 53,329	△ 57,423	△ 49,221	△ 46,596	△ 47,170	△ 47,112	△ 45,051	△ 43,968			



# 経営比較分析表（平成30年度決算）

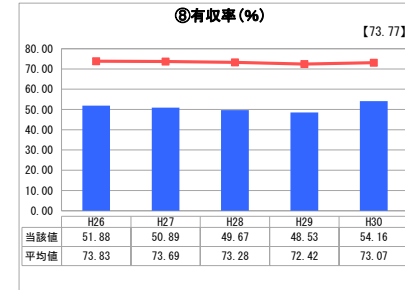
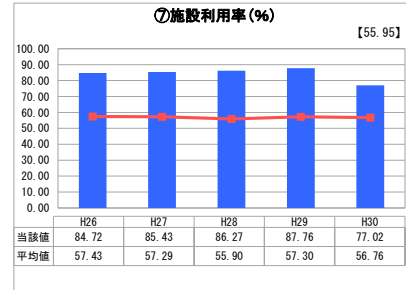
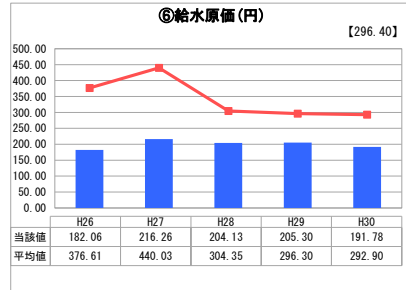
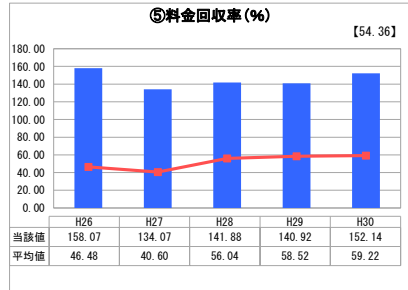
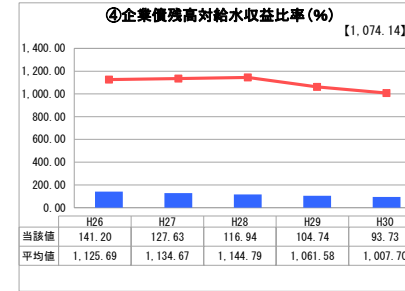
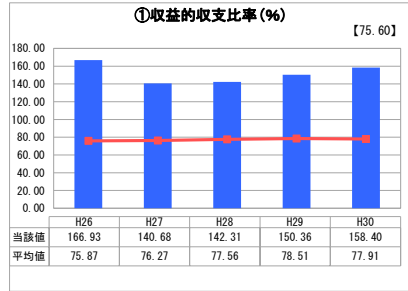
北海道 えりも町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	97.52	4,860	

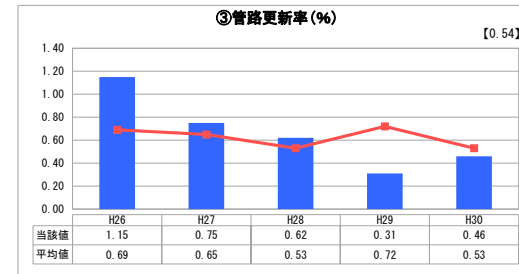
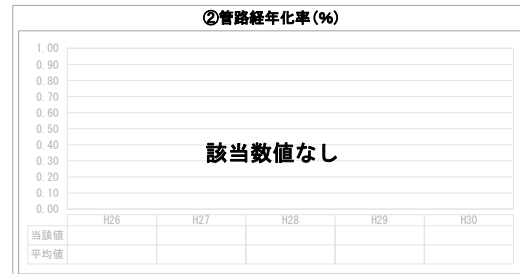
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,729	284.00	16.65
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,528	38.00	119.16

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、100%以上であると収支が黒字であることを示していますが、H30年度で158.40%と良好な比率となっており、老朽化施設の更新に備え黒字分は積立しています。

④企業債残高対給水収益比率は、低い数値が良いですが、類似団体平均値に比べて良好な比率となっています。

⑤料金回収率は、100%以上であることが良いですが、H30年度で152.14%と類似団体平均値に比べて良好な比率であり、料金収入で維持管理費や起債の償還費がまかなわれています。

⑥給水原価は、低い数値が良いですが、H30年度で191.78円と類似団体平均値に比べて良好な数値となっています。

⑦施設利用率は、高い数値が良いですが、H30年度で77.02%と類似団体平均値と比べて良好な比率となっています。

⑧有収率は、100%が良いですが、H30年度で54.16%と、類似団体平均値より低い割合となっています。これは、管路の老朽化により漏水の割合が高いことが要因であります。

### 2. 老朽化の状況について

③管路更新率は、H30年度で0.46%と類似団体平均値よりも低い数値となっています。管路の法定耐用年数は40年ですが、当町の場合、すでに40年を超えている管路もあることから、今後も財源を確保しながら、計画的に更新を進めていく必要があります。

## 全体総括

水道事業会計は、料金収入等で運営する独立採算性が基本ですが、当町の経営状況は料金収入でまかなわれており良好であります。

ただ、人口減少に伴い、料金収入額が年々減少してきており、今後もこの傾向は続く想定されることから、管路の更新を、緊急性や重要性が高いものから計画的に実施していきます。